

ストック(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使用 回数	菌核 病	灰色 かび 病	苗木 枯病	アザ ミウ マ類	アブ ラム シ類	コナ ガ	アオ ムシ 類	ヨト ウム シ類	ハイ マダ ラノ メイ ガ	ハダ ニ 類
トップジンMゾル	1		*f	5	◎									
ホーマイ水	1・M3		*d	1			◎							
ポリバリン水	19・M7		*f	8	◎	◎								
ゼンターリ顆水	11A		*b	-					◎					
チューリサイド水	11A		*b	-					◎					
チューンアップ顆水	11A		*b	-					◎					
トアロー水CT	11A		*b	-					◎					
バシレックス水	11A		*b	-					◎					
オンコル粒5	1A		*a	1					◎					
			*e	3				◎						
ガゼット粒	1A	劇	*a	1					◎					
オルトラン水	1B		*b	5					◎			◎		
マブリック水20	3A	劇	*b	2					◎					
モスピラン顆溶	4A	劇	*b	5				◎	◎					
モスピラン粒	4A		*c	1									◎	
アニキ乳	6		*b	6					◎					
アフファーム乳	6		*b	5					◎					
コテツFL	13	劇	*b	2				カ	◎	◎	◎			◎
ノーマルト乳	15		*b	2					◎	◎				

*a:定植時

*b:発生初期

*c:育苗期

*d:播種前

*e:生育期

*f:発病初期

カ:ミカンキイロアザミウマ

ストック (花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
萎凋病	播種または植付け前	<ul style="list-style-type: none"> ・次の薬剤のいずれかで土壌消毒する。 ガスタード微粒剤または バスアミド微粒剤 30～40kg/10a 	育苗箱は消毒する。
菌核病	生育期	<ul style="list-style-type: none"> ・3年程度、輪作する。 1. 発病株は速やかに処分する。 2. 蕾の出るころまで次の薬剤を散布する。 トップジンM水和剤●* 1500倍 トップジンMゾル● 1000倍 ポリベリン水和剤 1000倍 3. 蕾の出るころは灌水を調節し過湿をさける。 	<ul style="list-style-type: none"> ●耐性菌を生じやすいので連用しない。 *花き類・観葉植物での登録
苗腐病	播種または植付け前	<ul style="list-style-type: none"> ・次の薬剤のいずれかで土壌消毒する。 ガスタード微粒剤または バスアミド微粒剤 20～30kg/10a 	
灰色かび病		<ul style="list-style-type: none"> ・発病前から発生初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤●* 1000倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍 ポリベリン水和剤 1000倍 	<ul style="list-style-type: none"> 施設では過湿、密植をさける。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。 *花き類・観葉植物での登録
コナガ	定植時	<ul style="list-style-type: none"> ・施設栽培…開口部に防虫ネット等を張り、成虫の侵入を防ぐ。 ・露地栽培…生育初期は防虫ネット等のトンネル栽培を行う。 ・次の薬剤のいずれかを施用する。 ガゼット粒剤 <ul style="list-style-type: none"> ・株元散布 9kg/10a ・全面土壌混和 18kg/10a オンコル粒剤5 <ul style="list-style-type: none"> ・株元散布 0.5g/株 ・全面土壌混和 9kg/10a 	<ul style="list-style-type: none"> 薬剤により、幼苗期と花蕾出現期に薬害が出やすいので注意する。
	発生初期	<ul style="list-style-type: none"> ・発生を見たら次の薬剤のいずれかを施用する。 アフーム乳剤 1000～2000倍 オルトラン水和剤 1000倍 コテツフロアブル 2000倍 トアロー水和剤CT 1000倍 	